

經濟部 中華民国 台湾投資通信

Vol. 313
June 2025

頼清徳総統、日本の元経済産業大臣・西村康稔衆議院議員一行を接見

頼清徳総統は2025年5月5日、日本元経済産業大臣・西村康稔衆議院議員一行を接見し、日本政府が国際社会において台湾の声を上げ続けていることに感謝し、台湾海峡の平和と安定の重要性を改めて強調しました。

福岡「台湾貿易投資センター」を開設 台日経済協力は新たなステップへ

經濟部の郭智輝大臣は就任直後から、「境外関内」政策を推進し、政策実行と台日産業連携の強化に努めてきました。2025年4月21日には日本・福岡で2カ所目のセンター開所式を開催し、これは台日経済協力における重要なマイルストーンとなりました。

台日経済貿易の動向

台日間の投資と事例、技術協力、産業連携。

インフォメーション・コーナー

2025年 東京コンテンツ産業展、2025年台湾投資サミット、2025年 東京医療展－台湾エクセレンス館。

最近のトピック

頼清徳総統が日本の元経済産業大臣・ 西村康稔衆議院議員一行を接見

頼清徳総統は2025年5月5日、日本元経済産業大臣・西村康稔衆議院議員一行を接見し、日本政府が国際社会で台湾のために声を上げ続けていることに感謝の意を表するとともに、台湾海峡の平和と安定の重要性を改めて強調しました。

現在、世界経済と貿易が激しく変動する中で、経済安全保障の重要性がますます高まっています。台湾は日本との経済協力をさらに深化させることを期待しており、CPTPP（包括的および先進的な環太平洋パートナーシップ協定）への参加を積極的に目指すだけでなく、日本とのEPA（経済連携協定）の早期締結を希望しています。これにより、半導体、水素エネルギー、AI（人工知能）、ドローンといった分野での産業協力を拡大し、より緊密な経済パートナーシップを築いて、「非レッドサプライチェーン」の強靭性をともに強化し、双方の繁栄と発展を促進することができます。

会談の中で、西村康稔衆議院議員は、今回が総統との2度目の会見であると述べました。台湾と日本は普遍的な価値観を共有する国であり、両国の経済協力や人の往来などの関係は非常に緊密です。特に2024年には、台湾から日本への観光およびビジネス訪問者数が600万人を超え、人口比で見れば台湾は日本を訪れる人数が世界最多の国となっています。

さらに、TSMCが日本の熊本に工場を設立する際、日本政府が多くの支援を提供したことにも触れ、台湾と日本の半導体分野での相互協力が、半導体産業のさらなる発展をもたらし、より強靭なサプライチェーン体制の築きを信じています。

福岡「台湾貿易投資センター」開設 台日経済協力は新たなステップへ

経済省の郭智輝大臣は、就任後すぐに「境外関内」政策を推進し、その具体的な成果として、2024年12月にチェコで第1の「台湾貿易投資センター」を設立したのに続き、2025年4月21日には日本・福岡で第2のセンターの開所式を行いました。これは台日経済協力の関係における重要なマイルストーンを象徴するものです。

開所式では経済省政務次官の江文若氏が挨拶し、「台湾と日本は理念を共有し、産業面で相互補完性を有するパートナーである。福岡『台湾貿易投資センター』の設立により、両国の企業がより実質的に現地に進出し、台湾企業と日本のパートナーがアジア太平洋や第三国市場での展開をともに進めることで、ウィンウィンの協力関係を構築し、アジアのバリューチェーンに新たな原動力を注入することが期待される」と述べました。

経済省によれば、台湾と日本の産業は高度に補完関係にあり、台湾は先端半導体プロセスおよびAIハードウェアの分野で世界をリードしている一方で、

日本は材料、設備、品質管理の分野において高い技術力を有しています。九州地域は日本の半導体の中核拠点であり、福岡はその経済の中心地です。

経済省は、福岡に「台湾貿易投資センター」を設置することによって、橋繋ぎおよびプラットフォームとしての二重役割を果たし、台湾と日本の官民学研の資源を積極的に結びつけ、投資に関する相談、産業マッチング、技術交流、市場開拓などのワンストップサービスを提供しています。よって、「境外関内」政策の実現を推進し、台湾の国際展開および産業連携の強化を実現する具体的な行動であると強調しています。

台湾および日本企業で市場開拓・展開を希望する場合は、福岡「台湾貿易投資センター」の公式ウェブサイト（<https://fukuoka.taiwantrade.com/>）を参照するか、Eメール（fukuoka@taitra.org.tw）或いはセンターに直接にご連絡ください。

台日経済貿易の動向

台日間の投資と事例

台日間の投資に関して、経済省投資審議司のデータによると、2025年5月時点で日本から台湾への投資件数は累計12,271件、投資額は272億米ドルに達し、台湾にとって第4位の投資国となっています。主な投資分野は集積回路、半導体製造設備、ウエハー材料、精密機械などであり、日本企業が台湾のハイテク産業チェーンに対して非常に高い信頼と戦略的配置意図を示していることが分かります。

同時期における台湾から日本への投資は累計1,118件、投資総額は184億米ドルに達し、主に集積回路、半導体のパッケージングおよびテスト、IC設計、材料供給チェーンなどの重要工程に集中しています。これは台湾企業が日本との技術プロセスおよび供給体制の垂直統合を深化させていることを示しており、国際経済と貿易が不確実性の高い状況にある中で、台湾は半導体、AI、防衛産業、安全管理、次世代通信、バイオヘルスケアなどの「信頼産業」分野の発展を積極的に推進しています。台日の間には高度的に補完的な産業構造があり、長年の協力関係を背景に、両国はグローバルなAIと高度製造市場における機会を共に捉える好機を迎えています。

産業分業と地理的近接性という利点により、日本企業は台湾市場の成長需要に対応するため、対台湾投資の強化を続けています。

住友商事株式会社は2025年4月、台湾国際住商電子（Sumitronics Taiwan Co.,Ltd.）に対し約7,049万米ドルの増資を実施しました。同社は主に半導体材料および電子部品材料の輸出入および販売を手掛けており、半導体サプライチェーンにおいて重要な材料供給役を果たしています。また、同社は台湾の多数の企業と緊密な協力関係を築いています。親会社の住友商事は世界的にも上位に位置する複合半導体材料のサプライヤーであり、国際市場において高い競争力と影響力を有しています。

ダイキン工業株式会社（DAIKIN Industries, LTD.）は、台湾総代理店の和泰興業および力菱機電と協力して空気側設備に関する合併会社を設立し、2025年1月21日、彰化県の工場敷地内で創立記念式典を行いました。この三者による合併会社「大金台湾応用空調系統公司」は、大金工業の空調製造技術と品質管理、力菱機電の現地生産能力、和泰の販売ネットワークとサービス体制を結合したものであり、台湾部品供給チェーンを活用することで、地元の雇用創出と専門人材の育成を促進し、空調市場により多様なオーダーメイド型ソリューションを提供することを目的としています。

台日技術協力

東京大学と台湾積体回路製造株式会社（TSMC）は2025年6月12日、「TSMC-UTokyo Lab（台積電・東京大学ラボ）」の開設を発表しました。このラボは、先進半導体の研究、教育、そして人材育成を目的としており、TSMCが海外の大学と設立した初の共同研究施設です。

ラボは東京大学本郷キャンパスの浅野地区に設置され、今後、両者がそれぞれの分野で世界をリード

する知識、経験、創造力を活かし、半導体先端技術の研究開発、革新的なソリューションの模索、および次世代の持続可能な半導体技術のビジョンの実現に貢献することを目指します。また、優れた半導体人材の育成を通じて社会に貢献していくことも目指しています。

台日産業連携

工業技術研究院（ITRI）は、三菱電機株式会社と2025年6月9日、兵庫県にある先端技術総合研究所において、「固体アミン吸着剤によるCO₂回収モジュール」の設置式典を実施しました。これにより、廃棄ガス中の二酸化炭素を回収するための実証プロジェクトが正式に始動しました。本プロジェクトは、台日が協力してアジアのカーボンニュートラル技術市場に進出するための第一歩と位置づけられます。

三菱電機は、カーボン循環、材料と製品のリサイクル、次世代パワー半導体など、多岐にわたる分野での革新技術を通じて、グリーン社会の実現に向けた取り組みを進めています。今回の協力では、ITRIが開発してきたCO₂回収技術と、三菱電機が持つ優れた機電制御技術を融合させることにより、アジア地域におけるカーボン回収産業チェーンの構築を加速させることが期待されています。

インフォメーション・コーナー

1. 2025年東京コンテンツ産業展

開催期間：2025年7月2日（水）～7月4日（金）

会場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）

イベント内容：本展示会は、毎年世界中からライセンス事業者、製造業者、小売業者、代理店などが集まり、ライセンス契約の締結が行われる場です。同時開催イベントとして、「東京ブランド・キャラクター国際商談展」、「インディペンデント・クリエイター展」、「デジタルコンテンツ映像制作展」、「広告デザイン&ブランドマーケティング展」、「先端設備・デジタル技術展」などがあり、国際的なデジタルコンテンツ事業者にとって最適なB2Bビジネスプラットフォームを構築し、ライセンス業界の最新市場動向を紹介します。多数のビジネスマッチングも行われ、来場バイヤーは各国のメディア、エンターテインメント、広告・マーケティング部門関係者であり、台湾のデジタルコンテンツ事業者にとって見逃せない重要な展示会です。

主催：経済省国際貿易署

運営：中華民国対外貿易発展協会

イベント情報：<https://events.taiwantrade.com/ContentTKY2025>

2. 2025年台湾投資サミット

開催日時：2025年9月9日（火）13:30～

会場：台北マリオットホテル マリオットホール1

イベント内容：グローバルサプライチェーンの再編が進む最中、台湾は半導体製造、AI応用、バイオ医療研究開発などの分野で引き続き世界のハイテク産業において重要な地位を占めています。先端プロセス、通信アプリケーション、高性能コンピューティング（HPC）に対する世界的な需要の高まりに伴い、シリコンフォトニクス（Silicon Photonics）は、半導体およびAI発展の重要な突破口となっています。

「2025年台湾投資サミット」では、世界の半導体、AI、ヘルスケア分野のリーディング企業および専門家を招き、産業動向、サプライチェーン再構築、国際投資配置について議論を行います。また、当日には「半導体」および「大健康（ヘルスケア）」をテーマとした商談会が実施され、国内外企業のビジネスマッチングを促進し、台湾における外資の展開を強化し、持続可能で互恵的な国際パートナーシップの構築を目指します。

主催：経済省投資促進司

運営：工業技術研究院

イベント情報：<https://investtaiwan.nat.gov.tw/>

3. 2025年東京医療展－台湾エクセレンス館

開催期間：2025年10月1日（水）～10月3日（金）

会場：幕張メッセ国際展示センター（Makuhari Messe）

イベント内容：東京医療展は、日本を代表する国際的な医療展示会であり、医療機器、医療設備、高齢者介護、製薬業界で構成されています。多数の医療機器、医療消耗品、介護関連製品に関する専門バイヤーおよび輸入業者・販売代理店が来場し、出展企業と積極的かつ効果的な商談を行います。本展示会は、日本市場およびアジアの医療・介護・製薬産業へ参入するための重要なゲートウェイです。

主催：経済省国際貿易署

運営：中華民国対外貿易発展協会

イベント情報：<https://events.taiwantrade.com/TE1001/CMS/活動簡介>

投資相談窓口

投資台湾事務所

100031 台北市中正区愛国東路82号1F

+886-2-2311-2031

経済省投資促進司

100031 台北市中正区愛国東路82号3F

+886-2-2389-2111（内線：218）

Inves Taiwan:



<https://investtaiwan.nat.gov.tw/homePage?lang=jpn>